

在モンリオール総管轄地域内の概況(2026 年 7 月)

(公開情報に基づくもの)

1 政治

(1) ケベック(QC)州

・7 月 5 日、ルパンティニー(モンリオール近郊)で脱線事故発生。176 両編成のカナディアン・ナショナル鉄道(CN)の貨物列車の一部が住宅地で脱線し、一時 200 人以上の市民が緊急避難した。脱線した列車の多くは空で、危険物の流出や死傷者はなかった。州内では 2013 年にラック・メガンティックの住宅地で貨物列車が脱線、爆発し 47 人が死亡する事故が発生している。

(2) プリンスエドワードアイランド(PEI)州

・7 月 14 日、マクレーン元州大臣の死去にともない空席となっていたコーンウォール＝ミードウバンク州選挙区で実施された補欠選挙の結果、緑の党から出馬したウィローズ氏が 40%の得票率で勝利。これによる州議会の議席数は与党進歩保守党(PC)18、緑の党 4、自由党 4、無所属 1(総数 27)。

・7 月 15 日、前日の補欠選挙で次点に終わったミッチェル州自由党党首が辞任。ミッチェル氏は 12 月の補欠選挙でも敗北していた。

2 各州世論調査結果

州政党支持率

・NL 州(ナラティブ・リサーチ(Narrative Research)調べ、6 月 10～17 日(以下同じ)): 与党進歩保守党(PC)27%、自由党 26%、新民主党(NDP)18%、その他 1%、支持なし 3%、分からない 26%

・PEI 州: 緑の党 40%、自由党 19%、与党 PC13%、NDP2%、分からない 26%

・NS 州: NDP31%、与党 PC20%、自由党 16%、緑の党 1%、その他 1%、支持なし 3%、分からない 28%

・NB 州: 与党自由党 28%、PC21%、緑の党 9%、Libertarian Party of NB 6%、NDP4%、その他 1%、支持なし 4%、分からない 27%

3 経済

(1) QC 州

・7 月 9 日、州観光ホテル学院(ITHQ、モンリオール)は、モンリオールのカルチエ・ラタン地区に 2 つ目となる校舎を建設すると発表。2028 年完成予定。同学院はトップシェフやホスピタリティ専門家養成機関として国内でも名高い。

・7 月 10 日、フランス電力公社(EDF)は、カナダと米国における再生可能エネルギー事業を米ニューヨークの投資企業 KKR に売却。EDF は QC 州では 8 つの風力発電所(1227MW。州の風力発電能力の 3 分の 1)を単独または共同所有していた。

・7 月 13 日、州北部ペサミットのイヌ・ファーストネーションは、ハイドロケベック(HQ)とのエネルギー協定の是非を問う住民投票実施の結果、協定案を 63%で否決。協定案は、同ファーストネーションの同意を得ずに建設された 13 の水力発電所と 16 のダムを含む過去のプロジェクトをめぐる長年の法的紛争を解決し、将来の水力・風力発電開発への道を開くため、HQ が同ファーストネーションに 50 年間で 25 億加ドル超を支払うこと等を定めていた。

・7月16日、州政府は、モントリオールのオリンピックスタジアムの内部を改修すると発表。8.7億加ドルを支出し2028年に予定されているスタジアム屋根の改修後、より多彩なイベントを受け入れることを可能にするため観客席の改修にとりかかるとのこと。なお2026年は1976年モントリオール夏季オリンピック開催から50周年にあたる。

・7月16日、ケベック市の路面電車プロジェクト「トラム・シテ(TramCité)」で、アトキンス・レアリス(本社モントリオール)と独シーメンス・モビリティがレールシステム建設業者に選定される。同プロジェクトは、州政府とケベック市のパートナーシップのもと、連邦政府の財政支援を受け、CDPQ インフラ(ラケース(旧ケベック貯蓄投資公庫(CDPQ)子会社)が管理する。

・7月21日、カナダの州・準州首相会合「連邦評議会」に出席するため PEI 州シャーロットタウンを訪問中のフレシェット QC 州首相とウェイカム NL 州首相が面会実施。フレシェット氏は面会終了後、NL 州と再交渉中のチャーチルフォールズ水力発電プロジェクトに関する協定は「比較的近い将来」締結されるであろうと発言。

(2) 大西洋州

・7月21日、大西洋4州を含むカナダ9州の首相は、州をまたいだアルコール販売に対する主要な障壁を撤廃すると発表。生産者は他州の消費者に直接販売できるようになる(NB 州とマニトバ州は同措置は既に施行済み)。QC 州と3準州は署名せず。

・7月23日、沿海3州(PEI, NS, NB)は、将来の電力需要に協力して備えるため、地域を統合する電力事業者設立等の検討を開始することで合意。来春までに地域全体の送電計画のロードマップを作成する。

・7月23日、連邦政府は、カナダのエネルギー安全保障強化の一環として、PEI・NB 両州を結ぶ2本の新たな海底送電ケーブルの建設に向けた計画と技術作業を開始するため、590万加ドルを支出すると発表。

・7月29日、カナダ放送通信委員会(CRTC)は、2028年5月より、PEI・NS 両州で新たな市外局番851を追加すると発表。現在使われている902と782の市外局番は2029年2月までに枯渇する見込み。

(3) NS 州

・7月2日、州政府は、州最大規模となる陸上風力発電プロジェクトを承認。加企業エヴァーウィンドとケープ・ブレトン島の Membertou ファーストネーションによるプロジェクト「オーシャンレイク」は、ガイズボロ(州東部)に158基の風力タービン(1200MW)を建設する。エヴァーウィンドはケープ・ブレトン島で大型グリーン水素・アンモニアプロジェクトを開発中で、「オーシャンレイク」はその第2フェーズの電力供給を担う計画。

・7月6日、ヒューストン州首相は、ハリファックスで行われた、カーニー連邦首相による新型潜水艦建造事業者発表を歓迎。12隻のうち6隻はハリファックスで(※残り6隻はブリティッシュコロンビア州で)整備・保守されるとし、NS 州とハリファックスが受ける投資は計り知れないとコメント。フィルモア・ハリファックス市長も、これはカナダが下した最も重要な防衛調達決定の一つであり、ハリファックスが受ける恩恵は造船所の枠を超えると発表を歓迎。連邦政府は、老朽化したカナダ海軍の潜水艦に代わる新型潜水艦建造事業者として独 TKMS を優先交渉企業に選定した。韓国のハンファオーシャンは次点となった。

(了)